

令和3年(2021年) 春綱会総会議事録

日時：令和3年(2021年)12月18日(土)午後2時～午後4時5分

場所：エスエル会議室(港区西新橋1-16-1新橋三栄ビル)

出席者：会員32名の内 16名出席(会場参加12名、Zoom参加4名)委任状9名
会則第9条「総会は会員の3分の1以上の出席により成立する」に基づき総会成立を確認した。

会場参加者(敬称略)：山井, 村岡, 入沢, 高橋, 毛利, 鈴木, 新妻, 新島, 高野, 田邊, 門脇, 小沼, 濱, 初見

Zoom参加者：千明, 棚橋, 福田, 玉本

委任状提出者：松永, 辻井, 小川紘子, 大山, 安住, 小川晶子, 隅川, 三好, 佐藤

まず議長として鈴木健さん(横浜教室幹事)を, 書記として福田悦子さん(東京教室幹事)を選出した。次に山井綱雄先生にご挨拶をいただいた。

山井先生挨拶

令和3年は苦難の年でした。他の社中、特に地方では存続しない会もある中、春綱会では皆様が熱心に参加して下さり存続できていることに、心より御礼申し上げます。

コロナ禍で春綱会でも今年の9月に予定していた発表会が延期となりました。文化活動は「不要不急」という扱いをされることもありますが、こういう時だからこそ皆様に能楽を勉強していただき楽しんでいただきたいと思っています。文化は重要です。

年が明けてからは、5月の春綱会に向けての稽古をしていきたいと思っています。2ヶ月前までには演目を決めていただきたいと思っています。演目は今年の9月に予定していたものでも別のものに変えても構いません。またお免状もお稽古の進み具合に合わせて申請していただきたいと思っています。

総会議題

(1) 高橋副会長より本年の活動報告

令和3年(2021年)

①新年錬成会

例年1～2月に実施するが、今年はコロナ禍で企画せず。

②金春五星会

1月23日(土)国立能楽堂研修舞台にて開催した。

昨年予定されていた分をコロナ禍で延期して開催したもので、春綱会からは数名が参加した。

③横浜能楽連盟「五流交流の集い」

3月13日（土）に予定されていたが、コロナ禍で中止となった。

④春綱会オンライン交流会

3月28日（日）に実施した。

主に9月の発表会に関する意見交換を山井先生、村岡先生と共に1時間程行った。

⑤錬成会

例年5～6月に実施するが、今年はコロナ禍で企画せず。

⑥金春五星会

7月11日（日）国立能楽堂研修舞台にて開催した。

本年実施分で、春綱会からは数名が参加した。

⑦発表会

9月26日（日）に国立能楽堂で行う予定だったが、コロナ禍で延期した。

令和4年（2022年）5月1日（日）に実施する予定。

申し合わせは4月20日（水）午後3時からの予定。

⑧横浜能楽連盟「五流能楽大会」

10月23日（土）に予定されていたが、コロナ禍で中止となった。

⑨「山井綱雄之會」お手伝い

11月5日（金）に実施した。

春綱会会員からは数名にお手伝いいただいた。

担当幹事は田辺さん（富岡教室）にお願いした。

⑩春綱会総会

12月18日（土）に実施した。

(2) 高橋副会長より来年の活動予定（案）報告

令和4年（2022年）

①新年錬成会はコロナの状況を踏まえると開催は難しいと思われる。

②横浜能楽連盟「五流交流の集い」於：横浜能楽堂

3月12日（土）

連吟「俊寛」独吟の部分

仕舞「雲雀山」クセ 小沼（富岡教室）

「放下僧」クセ 鈴木（横浜教室）

③発表会 於：国立能楽堂

5月1日（日）

申し合わせは4月20日（水）午後3時からの予定。

④金春五星会 於：国立能楽堂研修舞台

7月23日（土）会員の皆様にはぜひ参加を検討してほしい。

⑤横浜能楽連盟「五流能楽大会」於：横浜能楽堂

10月8日（土）

⑥「山井綱雄之會」お手伝い

11月4日（金）夜 於：国立能楽堂

⑦総会

今後の感染状況はわからないので、各活動の実施に関しては必要に応じ山井先生、会長と副会長、各教室幹事が相談の上、対応を考えることとする。

(3) 次期幹事選出

各教室で以下の方々が選ばれました（敬称略）。

よろしくお願ひ致します。

東京教室：棚橋佳子

横浜教室：鈴木 健（継続）

富岡教室：高野妙子

久良岐教室：三好理香（継続）

(4) 村岡先生より本年の会計報告

◆春綱会2021年収支報告

2021.12.16現在

*2020年残金	¥768,413
<hr/>	
*収入	¥1,188,413
2021年年会費(@14000円×30)	¥420,000
<hr/>	
*支出	¥185,261
金春月報 暑中見舞広告代	¥1,500
金春月報 新年広告代	¥1,500
横浜能楽連盟 R2年個人年会費(32名分)	¥32,000
横浜能楽連盟 R2年団体年会費	¥2,000
謝礼(山井先生)	¥70,000
謝礼(村岡)	¥30,000
祝儀袋代	¥168
8月3日(火) カクシンハン稽古場差し入れ菓子等	¥13,000
11月5日(金) 山井綱雄之會 御祝	¥30,000
12月20日(日) 総会会場代	¥5,093
振込手数料	¥624
<hr/>	
*2021年収支	¥1,003,152
<hr/>	

収入は通常通り、支出は行事の中止が多かったため、通常より少ない。

山井先生、村岡先生謝礼については、「お稽古以外でもお世話になっており、コロナ禍での応援という意味も込めて、副会長と相談の上、今回謝礼を支払った」と入沢会長より説明があった。

「カクシンハン稽古場差し入れ菓子等」については、舞台は中止となったが、演劇界の慣例に従い、山井先生が会長、副会長と相談して、弟子の会として稽古場へ菓子の差し入れを行った。

「総会会場代」は、今回都合で区の施設を使用できなかったため高目になっている。

なお、例年と異なる活動内容となった場合は、通常必要となる項目と金額を参考までに示した方がよいのではないかという意見があった。

総会の休憩時間に入沢会長と高橋副会長が通帳に目を通し、予算が適切に執行されていることを確認した。

(5)その他

議長：繰越金が多くなったが、会のためになることに使ってはどうか？何かアイデアはないだろうか？

- どれくらい使えるのか。
- 残金 100 万円前後あるが、各行事でそれぞれ数万円の支出があることは考えておいてほしい。

議長：100 万円の半分は使っても大丈夫そうです。

村岡先生：春綱会 10 周年記念では風呂敷を作った。他の会では扇を作って素敵だったので 20 周年記念に扇を作ってはどうか。会員の使える記念品を作るのいいのではないかと。

議長：繰越金の使い方として発表会に合わせて扇を作る、ほかに揃いの浴衣、着物を作る案が出た。

山井先生：会員が汎用的に使えるものが良い。

棚橋：山井先生の謡の CD があると嬉しい。以前全体で稽古する謡本の CD を作ったが、今回は先生が選ばれた謡の独吟集 CD を作るのを提案したい。

- スタジオで山井綱雄独吟集を録音して作るのはいかがでしょうか。

会長：弟子の稽古用にとどまらず、完成度の高いものを作るなら作成費用を一部会費から援助することも可能。いくらかかるか検討してもよいのではないかと。

- これからは CD だけではなくダウンロード出来ないと広く利用されない。

こうした意見交換の結果、録音用の施設を使用した独吟の音源作成にどのくらい費用がかかるのか、こうした分野に明るい毛利さんを通じておおまかな見積もりを行った上で再検討することとした。

山井先生、村岡先生の今後の公演予定 令和 4 年（2022 年）主な出演予定

山井綱雄先生

2022 年 4 月 3 日(日) 金春会定期能

於 国立能楽堂

能『俊寛』シテ

2022 年 5 月 14 日(土) 伊東薪能

能『鶴』シテ

2022 年 7 月 10 日(日) 華宝会

於 宝生能楽堂

能『鳥追舟』シテ

2022 年 7 月 18 日(月祝) 座 SQUARE 第 25 回公演

於 国立能楽堂

演目未定

2022 年 11 月 4 日(金) 第 17 回山井綱雄之會

於 国立能楽堂

能『砧』シテ

村岡聖美先生

2022年4月16日(土) 円満井会定例会

於 矢来能楽堂

能『山姥』シテ

2022年12月24日(土) み絲之會第六回公演

於 国立能楽堂

能『紅葉狩 紅葉ノ舞 群鬼ノ伝』シテ

山井先生補足

①来年6月中旬か7月下旬、今年中止となったカクシンハン公演予定あり。場所未定。

来年8月第1週には、ポーランドでの国際シェークスピア演劇祭に参加。

②後援会会長岡田誠司様(駐バチカン日本大使)より日バチカン国交樹立80周年記念にあたり、2022~2023年3月の間にバチカンで能公演(金春流)を実現したいとお話をいただいた。

バチカンで能公演が実現することを今年の夢、目標としたい。

③2023年(5~6月予定)第18回「山井綱雄之會」で村岡聖美さんに「道成寺」を披かせる予定。皆様のお力添えをお願いしたい。

入沢会長挨拶

山井先生のご挨拶にあった、文化は不要となりかけたというお話から、最近読んだ本の「国は貧乏では滅びない、文化を失ったときに滅びる」を思い出しました。日本文化の中心的な能がなくなることは、日本文化の一部がなくなることで、大変残念なことです。能楽師の廃業、新しく能楽師になる人が少ないと聞くと、わたくしたちが特別な支援はなかなかできませんが、能を見る、何かにつけて関心をもって支える気持ち、弟子としてかかわる気持ちを持つことが大事ではないかと思っています。

また人間は無常であります。明日死ぬかもしれないと思うと、毎日の生活の大事さ、喜び、目標に向う気持ちの大切さに思いをよせながら、謡の稽古を続けております。

習い事は年数がたつほど良いものとなります。すぐにやめては意味がありません。お稽古は、続けると自分の財産としての価値が生まれます。

最後に、「収支報告」にある「謝礼」を入沢会長から山井先生と村岡先生に進呈して総会を終了した。

議事録作成担当者：福田(東京教室幹事)、高橋(東京教室、副会長)

以上